



町の安全・安心を守り、長きにわたり尽力 平盛和白鷹町消防団長、令和4年度をもち退任 【3/31：白鷹町役場】

これまでの長きにわたり、白鷹町消防団長として町の安全・安心にご尽力いただいた平盛和さんの退任辞令交付式が行われました。平さんは昭和60年に町消防団に入団、その後各役職を歴任され、平成25年に団長に就任。就任1年目には本町でも甚大な被害を出した、豪雨災害を経験。翌年の豪雨災害、そして近年激甚化、頻発化する災害時も、常に先頭に立ち町民の安全、安心を守り続けてきました。

佐藤町長からは「これまでの間、町民に寄り添い、町と共に守っていただいた。平成25・26年には豪雨災害を経験し、緊迫する中陣頭指揮を執り、1人の被害も出さなかったことを、鮮明に思い出される。本当にこれまでの活動に感謝申し上げます。」と言葉がかけられました。



令和4年度末で退団された平さん



地域おこし協力隊 貴田洋介さんが退任 これまでの活動に感謝状を贈呈 【3/31：白鷹町役場】

本町の地域おこし協力隊として活動してきた貴田洋介さん（仙台市出身）が令和4年度末で退任され、その退任式が行われました。

貴田さんは令和2年7月に地域おこし協力隊として着任し、鷹山地区を拠点にワイン用ブドウの栽培、水稻、野菜などを生産する農作業の支援に励んでこられました。退任後も引き続き町内に住み、鷹山地区の集落支援員を担いながら新規就農にむけて、研修を積む予定です。

退任式では、これまでの活動に対し、佐藤町長から感謝状が贈られました。感謝状を受け取った貴田さんは「これまでの支援に感謝し、町内でより良い農作物を栽培できるように頑張る」と抱負を語りました。



感謝状を受け取る貴田さん（右）
※今月の協力隊通信も併せてご覧ください。（34頁）



元 元気いっぱいに小学校生活を送れるようにー 農政対策白鷹地区本部によるおにぎり型の贈呈式 【4/6：白鷹町役場】

山形おきたま農業協同組合農政対策白鷹地区本部（丸川正博本部長）より、簡単・キレイにおにぎりが作れる「おにぎり型」の贈呈式が行われました。

これは、「子どもたちに、おいしいお米をしっかりと食べて、元気に学校生活を送ってほしい」と毎年寄贈いただいているもので、今年も町内の小学校に入学した1年生81名分のおにぎり型を寄贈いただきました。

贈呈式では丸川本部長より「これから迎えるさまざまな学校行事で、美味しいおにぎりを作って食べて欲しい」と佐藤町長に手渡されました。

毎年寄贈いただきありがとうございます。



丸川本部長（左）より佐藤町長へ手渡されました。



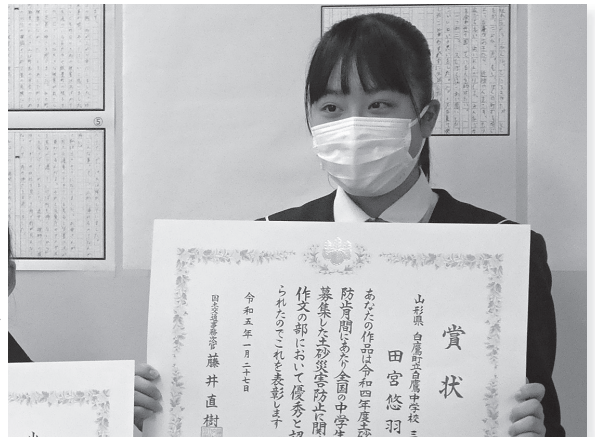
土 砂災害防止に関する絵画・作文 田宮 悠羽さん
中学生作文の部 優秀賞(国土交通事務次官賞)を受賞 【3/10:山形県庁】

田宮悠羽さん(受賞時白鷹中学校3年生、現在山形商業高等学校1年生)が、中学生作文の部 優秀賞を受賞されました。

作品募集は、国の「土砂災害防止月間」(6月)に合わせた啓発活動として毎年行われているものです。

田宮さんは、令和4年8月3日、山形県内に甚大な被害をもたらした豪雨災害と、その一週間後に、中学校総合体育大会東北大会 女子100mハードル競技出場のため、青森市を訪れた際にも同様の豪雨に見舞われたときの迫りくる災害の怖さを、見事に表現した作文で優秀賞を受賞されました。

この度の受賞、誠におめでとうございます。



賞状を掲げる田宮悠羽さん(右)



藍 綬褒章受章 白鷹町消防団副団長 佐藤貴光さん
受章記念祝賀会を開催 【3/25:パレス松風】

令和4年秋の叙勲で藍綬褒章を受章された、白鷹町消防団副団長の佐藤貴光さん(十王)の受章記念祝賀会が盛大に開催されました。

この日は、関係者150人が祝賀会に出席。入団以来31年の長きにわたり、町の消防防災活動の発展に献身的に尽力した功績をたたえ、今年度より団長に就く佐藤さんを激励しました。

佐藤さんは「皆さまからのお言葉を胸に刻み、なお一層の精進を重ねる」と謝辞と今後への決意を語りました。祝賀会では、祝いの餅つきなどが披露され、笑いあり涙ありの会場は感動に包まれていました。

この度の受章、誠におめでとうございます。



これまでの労いと、今後への激励を受ける佐藤さん(左)



地 地域見守り活動における協力を一
株式会社ナウエルと協定の締結

【3/30:白鷹町役場】

株式会社ナウエル(酒井登社長)と白鷹町との地域見守り活動に関する協定の締結式が行われました。本協定は、日常業務のなかで地域を訪れた際に、郵便物がたまるなどの異変があった住宅などについて、町に連絡を行っていただけで、今回協定締結の申し入れをいただき実現したものです。

締結式では酒井社長が役場を訪れ、佐藤町長と協定書を交わしました。「地域の中で、これまで以上に見守りの意識が高まることを期待する」と酒井社長よりあいさつがあり、佐藤町長からは「高齢化が進んでおり、ご支援いただけることを、非常に頼もしく感謝申し上げる」と感謝の言葉が述べられました。



協定書を掲げる酒井社長(左)・佐藤町長(右)